

- ・令和4～5年度で、全線のルート検討を行う「送水管路更新計画策定業務」を実施中です。
- ・令和3年7月豪雨による高濁度原水流入のハード面の対策として「濁色度対策等基本検討業務」を行っています。
- ・今津浄水場の監視システムは平成17年の運用開始以来17年が経過しており、交換部品が入手困難となってきたため令和4～6年で更新を行います。

3. 今年度の計画について

- ・今後も計画的な施設の大規模修繕や更新等を行い、県民生活の重要なライフライン及び地域産業のインフラとしての役割を担っていきます。

1) 飯梨川工業用水道事業

- ・送水管路布設替の工事及び詳細設計業務を実施します。また、管路更新で不要になった旧管については、モルタル充填工事を行います。

2) 飯梨川水道事業

- ・引き続き、「送水管路更新計画策定業務」を実施します。また、システム更新や高濁度原水対策を行っています。

4. 斐伊川水道事業（三代浄水場）施設増設について

斐伊川水道のH23年度供用開始時は、6池（計画10池）のろ過池で運用を始めましたが、契約水量が年々増加したことにより施設能力が不足してきました。

このため、三代浄水場では水質管理を含め非常に厳しい運用を行っており、特に令和3年7月豪雨による原水濁度上昇時には、ろ過池の能力不足が生じました。

このように運用面での対応が限界に達していることから、令和8年4月からの出雲市の満量受水(日量3,600 m³)に合わせ、ろ過池やポンプ等を増設することとし、令和5年度より工事に着手します。

